



AU 通信

芦屋ユネスコ協会
事務局 〒659-8501 芦屋市精道町 7-6
芦屋市教育委員会 社会教育部
生涯学習課内

TEL 0797-38-2091
FAX 0797-38-2089

ホームページアドレス
<http://www.unesco.or.jp/ashiya/>
Eメールアドレス

ashiya@unesco.or.jp

発行：芦屋ユネスコ協会
会長 広瀬忠子

「戦争は心の中で生まれるものだから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」

新年明けましておめでとうございます 会長 広瀬 忠子

芦屋ユネスコ協会会員の皆様 新年明けましておめでとうございます。

今年は干支のトップの子の年であり、初心に立ち返り今一度歴史を振り返って見ますとユネスコは、第2次世界大戦が「無知と偏見を通じて人間と人種の不平等」などの反省に立ち1945年に文化・コミュニケーションの分野で世界平和と人類共通の福祉のために国際連合の教育・科学・文化機関として創設されました。ユネスコは政府間機関ですが「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かねばならない」と云うユネスコ憲章の理念に共鳴した人々によって民間によるユネスコへの協力団体が1947年初めて仙台で創設され、芦屋ユネスコ協会は3番目に発足した歴史ある協会でございます。

昨年の当協会は世界遺産研修のバスツアーに始まり、戦争の体験談を通じて平和への祈りと話し合い、子供たちへの教育・寺小屋運動としての書き損じ葉書の回収、年末親睦会では山崎隆一郎特命全権大使による国際情勢の講演による学習などの他、赤十字活動への支援として災害時の街頭募金の協力など年間を通じてユネスコ活動を行っております。世界の平和に繋がる活動に携わることの出来る私たちはたいへん幸せな立場だと申せましょう。まだまだ世界中には悲しい事が沢山あります。心を新たに今年もユネスコを通じて世界平和のために、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。



—民間ユネスコ発足60周年にあたり、共通の運動方針と新ロゴマークが制定されました。—
〈新運動方針決まる〉

民間ユネスコ運動 運動方針 「つなげよう 平和の心」

共に生きる世界をめざして、学び、行動する民間ユネスコ運動へ

- 運動方針の3つの柱
- 1. 「平和の文化」実践活動
- 2. 世界寺子屋運動
- 3. 世界遺産・地域遺産活動

〈新ロゴマーク決まる〉



芦屋ユネスコ協会 2007年度年末講演会&親睦会



昨年末、2007年12月18日（火）午後6時から、ホテル竹園に於いて、来賓・会員93名の参加を得て恒例の「年末講演会&親睦会」が盛大に開催されました。

会長挨拶では、特に世界に先駆けて始まった日本の民間ユネスコ運動が60周年を迎え、全国共通の民間ユネスコ運動の運動方針と新ロゴマークが制定され運動方針は、共に生きる世界をめざして学び行動するためのスローガンとして「つなげよう 平和の心」と定め、運動方針は、1)「平和の文化」の実践活動 2) 世界寺小屋運動の推進 3) 世界遺産・地域文化遺産を守る活動の3つの柱として活動することが披露されました。

講演会は、外務省関西担当・全権特命大使の山崎隆一郎氏より「日本・ASEAN 関係の今後の展望：現場からの報告（ベトナム、フィリピン勤務を終えて）」と題して 1、福田ドクトリン30周年と日・ASEAN 関係の歩み 2) ASEAN に対する期待と注文 3) 日・ASEAN 関係の展望と留意事項 等について、分りやすく示唆に富んだお話を拝聴し勉強させて頂きました。



この後、今年も多額の活動資金をご寄付頂いたゴルフ N・F・G プロインストラクターズ協会会長の山下義房様と多数の書き損じハガキを寄贈して頂いた植村和人様に感謝状を贈呈しました。

山中健 市長による挨拶と乾杯で始まったディナータイムは和やかな懇談と共に美味しいお料理に舌鼓をうち、ティータイムより始まった恒例のビンゴゲームは参加者提供の数多くの景品を勝ち取って、大いに盛り上がりました。このビンゴの協力金は今年も10万円となりました。

最後に特別出演して頂いた会員の加藤純子さんの美声を聞かせて頂くとともにみんなでクリスマスソングも合唱させて頂きました。

締めくくりは、ライトダウンした中、全員で輪になって蛍の光を歌い、2007年末の恒例行事を無事終えることが出来ました。皆様のご協力に感謝致します。

（報告；事務局長 山田 利郎）

第29回阪神間ユネスコ協会連絡会 合同事業 開催

2007年度の阪神間ユネスコ合同事業が、芦屋、尼崎、伊丹、川西、神戸、三田、西宮、三木、宝塚の9ユネスコ協会の主催で、宝塚ユ協の担当で10月1日(月)に宝塚ベガホールで約180名の参加を得て記念講演会が開催された。

講師は、園田学園女子大学教授・宝塚市教育委員会委員長の田辺 真人氏で「阪神間地域の風土と歴史～街かど学のすすめ～」の演題のもと、兵庫県の、シンボル・イメージとわが郷土の自然・文化・情報等の理解や、豊かな歴史を学び―調べ―伝える事の重要性を具体的に説明され、わかり易く学ばせて貰った。

芦屋からは、西田副会長、由里副会長、住本常任理事、上野理事、山田事務局長が参加した。

2007年 近畿ブロックユネスコ活動研究会 in 大阪 開催

2007年度の近畿ブロックユネスコ活動研究会が、大阪ユネスコ協会主管のもと、大阪国際交流センターで近畿各ユネスコ協会から約200名が参加し10月27日～28日の2日間開催された。今回のテーマは「世界遺産活動を考える～地域ユネスコ協会によるアプローチの展望～」で金関 恕氏(大阪府立弥生文化博物館館長)の「世界遺産と奈良憲章」と題する記念講演で開幕。これを受けて、パネルディスカッションで城戸氏(ユネスコ協会評議員)、辻林氏(若山世界遺産センター長)、宗田氏(京都府立大学教授)、桑原氏(姫路ユ協会長)による「地域ユネスコ協会による世界遺産活動の展開」について熱心な討議と意見開示が行われた。2日目の分科会では、「地域遺産と地域協会・学校の取り組み」「地域協会青年部の活性化に向けて」「寺小屋・Dプロジェクト」「ユニークなユネスコ活動」「高校ユネスコ活動のあり方と地域協会との連携」について事例発表や活発な意見交換が行われた。今年は、地域遺産(地域文化遺産)の価値を発見しその保存に努力し地域と世界を結びつけて行く活動の重要性が確認された。芦屋からは、由里副会長、河上監査委員、塩井理事、中川理事、水渡理事、山田事務局長が参加した。

芦屋ユネスコ協会 世界遺産セミナー 開催

前年のマレーシアに引き続き今年はフィリピンを取り上げ、「フィリピンの世界遺産と生活様式」のタイトルのもと、11月2日(金)午後6時から芦屋市民センターにおいて会員多数の参加を得て開催された。講師は、海技大学校留学生・マーフィル ジョナサン カブレジャス氏で、フィリピンの世界遺産の紹介とフィリピンの歴史、風土、生活様式など多彩な内容を学び、今年の世界遺産セミナーも好評であった。

図書館〔友の会〕・子供の部屋世界遺産勉強会

本年も11月24日(土)、子供の部屋の「世界遺産を知ろう」の勉強会が実施されました。約50名の子供たちが、池西常任理事から「まもろう地球のたからもの」と題して日本の世界遺産をパネルで紹介し、ビデオで世界遺産を解りやすく説明しながら勉強して貰いました。その後、日本の世界遺産14ヵ所の所在地の地図作り工作を行うなどして、子供たちに世界遺産について理解を深めて貰う素晴らしい勉強会になりました。(報告者：事務局長 山田 利郎)



世界遺産～春の高野山～見学バスツアーのご案内

今年の春の“バスツアー”は、4月14日（月曜日）以下の要領で催します。

- 1) 世界遺産、弘法大師の母の寺院「慈尊院」にて住職の講話を拝聴
- 2) 高野山「宿坊」にて精進料理による昼食
- 3) 世界遺産「奥の院」を参拝、見学
- 4) 橋本ファーマーズマーケットで新鮮野菜など買物

- ・高野山は1200年前弘法大師によって開かれた真言密教の修行道場、真言宗の総本山。
- ・高野山は「紀伊山地の霊場と参詣道」として平成16年世界遺産に登録された。
- ・山内随所で桜が見られ「宿坊」の境内に咲く桜を見ながら精進料理を味わう。
- ・霊場高野山の中で一番の聖域「奥の院」で杉の大樹と多くの大名の墓碑や供養塔見学。

皆様お誘いの上、奮ってご参加頂きたくお願い申し上げます。

☆ 参加希望者は、2月末までに別紙申し込み用紙に必要事項をご記入の上、
本荘 美恵 理事までに FAX にてお申込下さい。

(電話&FAX 0797-32-7910)



寄贈の御礼

◎池邊 孝 様	5 千円
◎N・G・F・JAPAN 日本ゴルフ財団認定 N・G・F・プロインストラクターズ協会 会長 山下 義房 様	20 万円
◎植村 和人 様	書き損じハガキ 多数
◎成田 和代 様	書き損じハガキ 多数
◎市立芦屋病院 事務局	書き損じハガキ 多数
◎芦屋市民有志の皆様	書き損じハガキ 多数
◎芦屋ユネスコ協会会員の皆様	書き損じハガキ 多数

編集後記

2008 年 1 月ももう少し・・・ユネスコの行事は今年も目白押しです。

まず、4 月恒例のバス旅行。楽しみにしておられる方もたくさんいらっしゃいます。私もその一人です。皆様の参加お申し込みをお待ちしております。バスの関係で人数に制限があります。(45 名) お天気でありますように・・・